

2022年度 定時総会の開催報告



2022年6月15日（水）クレオ大阪中央において、新型コロナウイルス感染症の影響のもと、万全の感染防止措置を取りつつ規模を縮小して「公益社団法人大阪市シルバー人材センター 2022年度定時総会」を開催いたしました。

新型コロナウイルスの感染防止の観点から可能な限り書面での表決をお願いした結果、総会員数7,746名のうち、総会当日は、5,005名（出席者114名、委任状提出者605名、3議案の賛成議決権行使者4,286名）の出席となりました。

総会は正会員の今井晶子さんの司会によって進行され、開会にあたって、松山繁樹理事長の挨拶に続き、坂田洋一大阪市福祉局長から祝辞をいただき、ご臨席の坂田福祉局長及び新原雅佳福祉局高齢者施策部長、望月毅いきがい担当課長のご紹介のあと、正会員の眞壁健理事が議長に選出され議案審議に入りました。提出された議案は「2021年度事業報告」「2021年度決算報告及び監査報告」「役員を選任」の3議案で、いずれも原案どおり可決承認されました。

また、理事会の承認事項の「2022年度事業計画」「2022年度収支予算」の2点について報告されました。定時総会は活発な質疑が行われるなど盛会のうちに閉会しました。

理事長あいさつ要旨

皆さん、こんにちは。理事長の松山でございます。

会員の皆様方には、新型コロナウイルス感染症の影響のなか、2022年度定時総会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

日頃から親切・丁寧をモットーに、真摯に就業に励まれ、センター事業に積極的にご参画いただいております会員の皆様方に、心から敬意を表しますとともに深く感謝を申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症ですが、わが国におきましては、今年は3年ぶりに規制がないゴールデンウィークとなりました。久しぶりに観光地の賑わいや高速道路の渋滞状況、新幹線の混雑状況などが報道されました。

その新型コロナウイルスの状況ですが、新規感染者数が2月を頂点に減少傾向にあります。最近では減少幅も小さくなり、専門家からは再拡大の懸念も指摘されています。

このようなことから、残念ながら本年の総会も規模を縮小して実施する運びとなりましたこととお詫び申し上げます。

また、ウクライナ情勢の長期化、円安の進行などで原油や原材料の高騰により、物価が上昇しており、我が国の景気回復も先が見通せない状況となっております。

当センターにおきましても、コロナ禍のなか、出張入会説明会の再開や、市内在住の高齢者の皆さんを対象にしたスマホ教室を開催して会員拡大に努めましたが、2021年度の会員数は前年度から大きく減少いたしました。

また、事業実績は、就業開拓コーディネーターを各事業所に配置し、人出不足分野や子育て、サービス業分野を対象として積極的な企業訪問を行うとともに、過去に取引のあった企業や既契約先企業等に対しても就業人員増の要請に努めた結果、契約件数は693件、1.6%増の43,807件となり、労働者派遣事業を含めた契約金額は、

約436万円、0.2%増の、約24億6,979万円となり、緩やかな回復傾向となっております。

世界中で新型コロナウイルスに対する治療薬の開発が進められるとともに、4回目のワクチン接種も開始されるようでございます。一日も早く元の生活に戻れることを期待しております。

このような厳しい状況のもとではございますが、高齢者の皆様が臨時的かつ短期的な就業につくことを通じて社会参加を進め、自らのいきがいの充実や健康増進とともに、活力ある地域社会への貢献を目指すシルバー人材センター事業の理念は決して揺らぐものではなく、ますます重要になるものと確信いたしております。

今後とも、会員の皆様方が長年にわたって培ってこられた知識や経験・技能を活かし、働くことを通じて「いきいきと活動する社会」の実現を目指して、会員の皆様方と役職員が一丸となり、力を合わせて事業の推進に努め、活力のある地域社会の構築に寄与してまいり所存でございますので、ご参会の皆様をはじめ会員の皆様方のなお一層のご協力をお願いする次第でございます。

本日の総会では、議案として2021年度事業報告ほか2件と、報告事項としまして2022年度事業計画、などについてご審議いただき、会員の皆様とともに、当センターの更なる発展を目指したいと思います。

結びにあたり、大阪市シルバー人材センターの会員の皆様のご活躍とご健康を心からご祈念申し上げまして、開会のご挨拶といたします。本日はよろしくお願ひ申し上げます。



理事長 松山 繁樹

2021年度事業実績報告

- 会員数 (2022年3月末)
7,808人 (対前年-1,440人、-15.6%)
(男:4,987人、女:2,821人)
- 就業実人員 (派遣含む)
5,403人 (対前年-134人、-2.4%)
- 就業率
69.2% (対前年+9.3ポイント)
- 契約件数 (派遣含む)
43,807件 (対前年+693件)
内訳 { 公共 1,514件 (-7件)
 民間 42,293件 (+700件)
- 契約金額 (派遣含む)
2,469,793千円 (対前年+4,362千円)
内訳 { 公共 457,902千円 (+18,963千円)
 民間 2,011,891千円 (-14,601千円)

2022年度事業計画

1. 就業開拓提供事業
2. 普及啓発事業
3. 研修・講習会事業
4. 相談事業
5. 安全・適正就業推進事業
6. 訪問介護事業
7. 独自事業
8. 職業紹介事業
9. 労働者派遣事業
10. 会員拡大
11. 組織体制の充実強化
12. 財政基盤の拡充

2022年度収支予算

(単位：千円)

項 目	2022年度予算額
受託事業収益	1,831,040
独自・企画提案事業収益	9,240
労働者派遣事業等受託収益	81,400
有料職業紹介事業受託収益	110
介護保険事業収益	22,530
受取会費	9,385
受取補助金等	99,000
その他収益	52
経常収益計	2,052,757
経常費用	
事業費	1,998,351
管理費	54,406
経常費用計	2,052,757
当期経常増減額	0

新役員の紹介

新たに就任された役員の方々をご紹介します。

理事長	松山 繁樹
副理事長	野口 一郎
副理事長	矢田貝 キサ卫
常務理事兼事務局長	平野 博士
理事	白澤 政和
理事	多田 龍弘
理事	諫山 保次郎 (新任)
理事	虫明 豊美
理事	片岡 孝夫
理事	井上 貞彦
理事	眞壁 健
理事	森山 具樹
理事	藤脇 一夫
理事	佐伯 重三 (新任)
理事	木村 道子 (新任)
監事	三原 秀章
監事	魚住 誠一

(順不同)

退任役員の紹介

長年にわたってセンターの運営にご尽力賜りました次の役員の方々退任されました。

理事	石部 勝様
理事	赤阪 昇三様
理事	脇坂 幸子様

大変、お世話になり誠にありがとうございました。